



- 2014-2015 R I 会長：ゲイリーC.K. ホアン
- R I 第 2570 地区ガバナー：坂本 元彦
- 会長：加藤 国夫 幹事：滝沢 文夫
- 例会日：木曜日 12：30～13：30
- 例会場：丸広百貨店入間店 6 F パンケットホール
Tel. 04-2963-1111

- 会報委員長：石川 嘉彦 ■ 当番：吉沢 誠十
- 事務所：〒358-0023
入間市扇台 3-3-7 ハイッ斎竹 101 号
Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
Email: iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

第38号 2859回例会 2015年 4月 2日(木)

<今月のお祝い>

婦人誕生日	豊田恵子様 新井馨様 宮崎洋子様 中澤好子様
結婚記念日	友野政彦君 齋藤金作君 粕谷康彦君 晝間和弘君 中澤孝芳君

<5月プログラム>

	当番	内容
7日	新井	会員卓話 [我等の生業]
14日		55周年記念式典(夜間)
21日	荒井	講師卓話 国際奉仕委員長担当
28日		日帰り美術館めぐり

●●●会長の時間

加藤国夫会長

皆さん今日は、桜の開花と共に、新たな夢と希望に満ちた入社式の様子をテレビを通して、桜の便りと共



に届いておりますが、鹿児島から始まり名古屋、大阪、東京、仙台、青森と津軽海峡を渡り、北海道には約一か月の桜前線に乗って到達すると予想されます。暖冬と言われている影響でしょうか、このところの暖かさで近隣の桜も満開となりお花見には絶好のようです。

お花見は日本人独自の風習として海外にも知られていますが、お花見は、いつ頃から始まったのか、花見の起源と歴史をたどると、平安時代の国風文化の影響で広く認知されるようになり人気が高まり「花」とは桜を指すようになっていったと記されています。それまでは「花」とは梅を指していたようです。

お花見の歴史としては、最初に記述されたものでは西暦 800 年ほどに、その時の天皇が観桜会を開いたとあります。「1598 年 4 月 20 日」豊臣秀吉が、醍醐寺に 700 本の桜を植えさせ、近親の者や、諸大名、その配下など約 1300 名を従え、盛大な花見の宴を催したとされるのは、歴史上もっとも有名なお花見とされています。

古今、日本人の多くは花と言えば、桜の花の下でお花見「宴会」と言うのが定番のようです。桜花爛漫、「4月のロータリーは、雑誌月間」です。桜の花の下での読書などは如何でしょうか・・・。

ロータリーの雑誌「ロータリーの友」の購読は、ロータリーの中の三大義務の一つでもあります。購読によって「ロータリーの友」などに対し会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図るのが目的です、とあります。『2007 年手続き要覧』のロータリークラブ定款、の「第 14 条ロータリーの雑誌」では、各会員は会員身分を保持する限り R I の機関雑誌、または R I 理事会から本クラブに対して、承認並び指定されている地域的なロータリー雑誌（日本では『ロータリーの友』）を購読しなければならない、と定めています。ロータリー雑誌、ロータリーの友に付いては、会報、雑誌委員長さんより報告があると思いますのでこれ位にいたします。次年度（4月のロータリー特別月間は「母子の健康月間」となります。

話は変わりますが次回の例会は、馬路会員の長徳寺での（「座禅会」馬路会員の卓話）移動例会となって居ります。会場をお間違えのないようよろしくお願いいたします。

今日はこの後、クラブ協議会となって居ります。今回のクラブ協議会は地区派遣役員として入間Cから7名の方が出ておりますので、それぞれの委員会の報告をお願いしております。

● **幹事報告** **滝沢文夫幹事**

第10回定例理事会 <協議事項>

1. 5月・6月のプログラムについて
 2. 第4回入間環境フェア協賛金¥10,000
 3. 入間市ゴルフ協会年会費納入¥10,000
 4. 来年度、委託契約締結の件(奥田、古川氏の業務委託並びに解放作成業務委託契約)
 5. 55周年記念式典予算について
- <報告>

1. PETS(粕谷エレクト)より次年度ガバナー公式訪問日決定のお知らせ 7/23(木)
2. 4/4(土),5(日)関谷家 通夜、告別式お手伝い
3. 4/19(日)地区研修協議会
4. 5/23(土)「ロータリーの森」奉仕活動
石川PG、忽滑谷、田中、吉永各会員出席予定
5. 5/21(木)入間市ゴルフ協会総会、理事会欠席
6. 4/2(木)入間基地観桜会 加藤会長出席



● **委員長報告** **石川嘉彦委員長**
会報・雑誌委員会

今月は雑誌月間です、アメリカで発行される公式雑誌“The rotarian”のほか31ヶ国語で発行される雑誌が有ります。(p.8, p.9) p.10からはロータリーの友委員(委員長橋本長平さん)会の懇談会の様子が興味あります。熟読してください。「友」地区委員は大変しんどい仕事です。毎月の会合は全国34地区から東京港区芝公園黒龍ビルに集まり、

- ① 「友」を読んでの感想や意見を議論します。
- ② 「友」を読んで、感想や意見を提出するレポートも。25日頃に原稿用紙をいただいて、よく月15日頃までに提出しなければなりません。「友」の委員はガバナーの代理と言われますが、実は全国34地区から選任される委員は地区ガバナーに優れるとも劣らないかたがたが選出されてきます。2007~08年度には齋藤金作パスト元地区幹事にお願ひ、知らなかったとは言え大変ご苦労をおかけしました。

齋藤金作会員より一言

やってみますと大変自分自身の為にもなり、一年間勉強させて頂きました。「友」の編集長はロータリアンで大変優れた方で、安心して私たちが任すことが出来ました。

プログラム委員会 **宮崎正文委員長**

5月のプログラムは表記どおりです。
 6月4日は第6回クラブ協議会・各小委員長事業

報告、11日5大奉仕委員長事業報告、18日会長、幹事、SAA挨拶、25日最終夜間例会となっています。続いて、来週の座禅例会について馬路会員よりご報告いたします。

馬路宏樹会員より次週の座禅例会について

来週の座禅例会は12時30分点鐘、お弁当を用意しております。座禅をいたしますので、ゆったりした服装でお願い致します。お寺の駐車場には20台ほど止められます。

広報委員会 **岩崎茂委員長**

5月14日の創立55周年記念式典は飯能のヘリテイジで行います。55年の間に、繁田ガバナーと石川ガバナー、そして齋藤編集委員を輩出した歴史あるクラブに相応しい式典にしたいと担当の私と、会長の意志が固まっています。皆様のご協力で盛大に行いたいと思っています。ご夫婦御揃いでのご参加を宜しく願ひいたします。

<出席報告> **田中快枝委員長**

会員数	出席数	出席率	前々回修正率
39名	27名	69.2%	76.9%

事前欠席連絡 10名

<ニコニコBOX> **忽滑谷明SAA**

岩崎茂君~創立55周年記念式典へ全会員のご家族連れの参加お待ちしております。後藤健君~馬路さん入社式での講演ありがとうございます。繁田光君~大野賢次さん写真ありがとうございます。関根靖郎君、細淵克則君~早退いたします。

本日¥32,000 累計¥770,500

◆ **回覧、配布物**

- ① 米山梅吉記念館 館報 Vol. 25
- ② 4/9 座禅例会出欠表
- ③ 4/21 入間南RC合同例会出欠表
- ④ 5/28 日帰り美術館めぐり出欠表
- ⑤ 5/14 創立55周年記念式典例会出欠表
- ⑥ 5/21 第25回ゴルフ大会の開催について
- ⑦ 5/23 ロータリーの森奉仕活動参加のお願い
- ⑧ 5/23 入間市環境まちづくり会議総会開催
- ⑨ 加藤会長「論語」解説書
- ⑩ 他クラブ週報&例会変更のお知らせ
- ⑪ 入間RC週報37号



牛沢カタクリ自生地

■ ■ ■ 第5回クラブ協議会(地区役員報告) ■ ■ ■

■ ローターリー財団 地区資金管理委員会

細淵克則委員長

ロータリー財団の部門委員長は、夢計画に伴いGETSに3日間、サンディエゴに行き研修を受けます。原則3年間の任期です。部門委員長は深谷RCの柴崎典一です。推進委員会委員長は広瀬勝俊(深谷東)です。

この委員会は寄付(基金)のお願いが主な役目です。最重要課題はポリオ撲滅の使途指定基金です。インドは昨年撲滅宣言をしました。2013年は416名でしたが2015年3月現在では、10名になりました。2018年の撲滅宣言に向けて最後のステージです。

補助金奨学委員会委員長は茂木聡(本所RC)です。奨学候補生を5月に論文、筆記試験、面接等を4日間行い、候補生を確定します。候補生に年5回の勉強会を実施します。また入学が確定すると留学先のカウンセラークラブを探し出す仕事があります。これが中々大変な仕事です。ガバナー等に国際大会で相手RCを探してもらおう事もあります。

私は資金管理委員会委員長として、補助金管理セミナーを3月に実施し、各クラブに資金管理委員を指名してもらおうと同時に地区とクラブで覚書を締結します。また、地区とRIも覚書を締結します。

来年度の補助金の申請は5月31日必着で申請をお願いします。内容に関して委員会全員で検討し決定をします。そして今年度の補助金の完了報告書に関して、資金、事業内容に不正等が無いかを監査する役目の委員会です。

■ クラブ奉仕部門 会員増強委員会

水村雅啓委員長

地区の会員増強委員会は公共イメージ委員会とともにクラブ奉仕部門委員会の小委員会として活動しています。毎年前年度の5、6月に会長エレクト、増強委員長予定者の方を対象にセミナーを開催しています。現在、世界の会員数は122万人ですが、RIでは130万人を目標に増強を推進しています。日本の会員数は89,000人で減少傾向にあります。会員の増強は、クラブの活性化と奉仕事業の実践に欠かすことのできない課題です。地区の委員会では、方策を練って増強をサポートしていきたいと考えています。

■ 地区記念誌委員会 第3G

■ 社会奉仕部門 ブライダル委員会

吉永章子委員

最初に地区の概要を記します。1988年7月1日に新生埼玉地区として国際ロータリー第257地区と277地区に発展分割され、その後当地区は国際ロータリー第2570地区と呼称番号が変わり埼玉県西北部の地区となりました。

地区記念誌委員会

記念誌は10年毎に発行されます。地区分割後の2018が30周年に当り発行予定です。真下和男委員長を筆頭に9名構成の準備委員会です。

ブライダル委員会

地区分割前はガバナーの奥様方が社会奉仕の一環としてご縁結びをされていたと伺いました。当地区は分割後18年たった2007年に石川ガバナーが再発足され早8年になろうとしています。ロータリアンの「子息子女」及び「知己」の方を対象に相談会やブライダルパーティを開きお相手探しのお手伝いをさせて頂いています。

■ 米山記念奨学部門

忽滑谷明委員長

2014~15学年度の2570地区の受入奨学生は18名です。奨学生たちは各世話クラブの例会、活動に参加しながら数多くのロータリアンに出会い、日本の文化を学び、また日本の平和を肌で感じ取っています。各世話クラブの活動以外に地区での様々な活動にも参加しております。ロータリーの森清掃、秩父音頭 祭り参加、米山梅吉記念館来訪、クリスマス会、また10月の米山月間では各クラブに来訪して卓話も行ってあります。

米山記念奨学事業は、経済的に困っている学生への救済でも、特別な学業研究の奨励でもありません。私は母国と日本との懸け橋となるような優秀な人材を育てる国際教育事業であると思っています。

次年度の採用奨学生の国籍別は、中国5名、韓国5名、ベトナム5名、ネパール、マレーシア、ドイツ、各1名で、一つの国に偏らないよう配慮しております。入間RCでは、田中会員にカウンセラーをお願いし、ベトナムの学生を受け入れる予定ですので宜しくお願いいたします。

■ 青少年奉仕部門担当諮問委員

石川嘉彦委員

入間クラブからは地区委員が多く出ております。地区委員を受けると時間的にも責任からも大変苦勞が多いのですがどの委員も地区の活動に真剣に取り組んでいることが地区では大きく評価されています。皆様の活躍を誇りに思います。

2017~18年度ガバナーは投票で決めるということになって居りましたが、立候補者がなく地区指名委員会に於いて推薦をすることになり、私が次年度指名委員会委員長になります。